

---

## 編集後記

---

平成 22 年度診療報酬改定がなされたが、透析医療関係の改定点が透析施設にどのような影響を与えたか、今後いろいろ検証され明らかになってくるものと思われる。本号では、医療経済の項で、医会会長の山崎先生により今回の改定の評価と問題点をとりあげていただいた。

例年 **Current Topics** が開催されその講演内容が掲載されているが、本年は臓器移植、認知症、新型インフルエンザ対策、C 型肝炎治療、日本の医療問題など、現在問題となっているトピックスを取り上げて講演がなされ掲載された。医療安全対策では日本における HIV 感染増加の現状が報告されており、今後日本の透析医療現場でも直面することになることが考えられる。ブラッドアクセス増設困難例が増加しており、血管内留置型カテーテルの使用が避けられない現状から、その合併症について報告して頂いた。実態調査では USRDS の国際報告を取り上げ、特に CAPD が少ない現状とその要因について触れさせて頂いた。臨床と研究では血管石灰化、ヘルペスウイルス感染、統合医療からみた透析の質と量、貧血治療ガイドライン、看護師の現状と将来、過疎地域の透析医療などについて執筆頂いた。日本透析医会通常総会が開催されたので、専務理事の杉崎先生に総会資料と決定事項を執筆いただいた。会員の皆さんには是非目を通して頂きたい。その他、講演抄録、公募助成論文、透析医のひとりごとなどを掲載した。

本号も以上のような豊富な内容になっており、会員の皆さんには最新の医療情報として活用して頂けたら幸である。

広報委員 原田 孝 司